

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	腫瘍血管によるがんの悪性変化の解明とその制御
研究代表者	高倉 伸幸 (大阪大学・微生物病研究所・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>現在臨床的に使用されている腫瘍血管新生を抑制する血管内皮成長因子 (vascular endothelial growth factor; VEGF) 阻害剤による抗腫瘍効果は限定的である。本研究は、研究代表者が見いだした進展型血管新生の分子機序の解明と、アンジオクラインシグナルの作用機序を解明することにより、腫瘍血管によるがん悪性化の分子機構を明らかにしようとするものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>研究代表者の独創的な発見である進展型血管新生の分子機序や、アンジオクラインシグナルの作用機序が解明できれば、腫瘍血管を標的とした新たな治療法の開発へつながるものと期待される。</p>